

生命アクサ

鹿児島県と連携協定

健康経営、働き方改革推進で協力

アクサ生命は1月31日、鹿児島県（塩田康一知事）と健康経営および働き方改革の推進に関する連携協定を締結した。協定は緊密な相互連携と協働による活動の推進することにより、地域のさまざまな課題に迅速かつ適切に対応し、地域社会の活性化、鹿児島県民の安心安全な暮らしの確保に資することを目的とする。

るもので、①県内企業等における健康経営の推進②県内企業等の従業員および家族におけるライフマネジメント③県内企業等における働き方改革の推進④その他両者間で協議して定める事項の4項目で両者が連携

して取り組むことを主な内容としている。同協定に基づいてアクサ生命は、保険事業や健康経営の実践支援、企業として社会的責任を果たす取り組みなどを通じて培った知見と人的ネットワークを、鹿児島県の各種施

策に役立て、県民の健全な生活と地域社会の持続的発展のために取り組んでいくとしている。同社は、鹿児島県内において、1971年5月に当時の加世田商工会議所（現在の南さつま商工会議所）の特

定退職金共済制度、76年3月に鹿児島商工会議所で生命共済制度の販売を開始するなど、事業所の福利向上を図るため、地域に根差した活動を続けてきた。昨今では、健康経営の導入実践を促し、従業員のライフマネジメン

ト⑥啓発によるワーク・エンゲイジメントの向上と事業の持続的発展を目指す取り組みを県内商工会議所や全国健康保険協会（協会けんぽ）鹿児島支部とともに推進していくとしている。